

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議

2010年9月15日 第1号

100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

◆いよいよ100万人署名活動スタート

岡崎祐士松沢病院院長が長妻昭厚生労働大臣から依頼を受けて、平成22年4月3日に大臣出席の下でこころの健康政策構想会議が発足しました。岡崎院長を座長として90人の委員が集まり(30%が当事者・家族委員)、当事者・家族・国民の二重に添った精神保健・医療改革の提言をまとめ、5月28日に長妻大臣に提出しました。その後各方面から大きな反響があり、7月25日にこころの健康政策構想会議を解散し、こころの健康政策構想実現会議が発足しました。

この会議では「こころの健康を守り推進する基本法」制定を目指す100万人署名運動、国民フォーラムの開催(10月3日)などに取り組んでいます。この運動の気運を高めるためにニュースを発行します。みなさん是非ご参加ください。

◆こころの健康国民フォーラム開催、参加申込受付中

来る10月3日(日)、特別ゲストとして英国王立ロンドン大学精神医学研究所、Paul McCrone 博士をお迎えし、ベルサール九段ホールにて「こころの健康国民フォーラム」が開催されます。イギリスでは、精神疾患による社会経済的損失が極めて膨大であることが医療経済学の観点から明らかにされ、精神疾患についての政策が国の基本政策に位置づけられています。当事者・家族・国民が期待する高質かつ効率的な新しい精神保健サービスを実現していくことの意義を社会経済的な観点を交えて、ともに考えてみましょう。

NPO法人世田谷さくら会の一室をお借りして「国民フォーラム開催事務局」を設置し、自薦、他薦の事務局員が交代でFAXに入る参加申込者の名簿づくりを行っております。申込がないときは、FAXが壊れたのではないかと、つつい他の事に原因をさがしてしまうこともあります。

◆広がるこころの健康政策構想実現会議

こころの健康政策構想実現会議の事務局長として奮闘されておられる、西田淳志先生からメッセージをいただきました。

こころの健康政策構想会議が厚生労働大臣に提出した精神保健医療改革に向けた政策提言書(「こころの健康政策構想会議政策提言書」)の内容について、多くの方々にご理解・ご賛同いただくための説明会・講演等を各地で行っています。

構想会議の関係委員が、兵庫県における関西地区説明会をはじめ、北陸や沖縄、名古屋など各地区をまわり講演を行っております。構想会議の政策提言の内容を、多くの方々にご理解いただき、三大疾患にふさわしい政策の実現に向けた国民運動の輪に参加していただきたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。

◆こころの健康政策構想実現会議学習フォーラム in 埼玉が開催されます

連日の残暑の中、皆様には如何お過ごしでしょうか。今年5月「精神保健・医療改革に関する提言」が長妻厚生労働大臣に提出されました。このことに関して、多くの皆様にぜひ理解をいただきたく埼玉で「学習フォーラム」を開催します。

9月29日(水)、浦和埼玉会館 午後6:30～からです。全国から結集し、熱い議論の末、生み出された提言書が無駄にならないため、しっかりと基本法として根づき国民一人ひとりが明日への希望を持って生きられるように、埼玉から発信していきましょう。100万人署名に皆で力を合わせて取り組もうではありませんか。

◆いろいろな方々からご賛同をいただいております

早速、小山明子さん(女優)、高橋シズエさん(サリン被害者)、佐々木常夫さん(東レ経営研究所特別顧問)からご賛同をいただきました。今号では佐々木常夫さんからの応援メッセージをお届けします。

佐々木常夫さんは先のこころの健康政策構想会議でご家族の立場で、ご家族に対するこころ温まる体験をお話された方です。下記は佐々木様からの応援メッセージです。

「いまこそ一人でも多くの人に知ってもらい、力になってもらい、
この運動を進めることで、安心社会を作りましょう」



(佐々木常夫様)